



やまきたまち 議会 だより

議会のおと



カレー&カフェ「丹沢湖 創作」 湯川さんご一家
(関連記事は裏表紙に)



議会ホームページは
こちらから

P 3プレミアム付商品券販売へ

P10 ~ 11... **特集** 元気の源は地域から

令和7年12月定例会

○令和7年第4回定例会（12月8日～9日）を開催しました。
 ○主な議題は一般会計・特別会計補正予算を審議しました。
 ○一般質問は7名の議員が登壇しました。（4～7ページ）

《一般会計補正予算》

どうなる?!
 ふるさと納税

寄付金増額2千万円
 の詳細は。

やまきたまち 議会だより

改正により、令和7年10月からポータルサイトのポイント付与がなくなることから9月末までの駆け込み需要が増加し、これまで約1億4千800万円の寄付があった。過去の実績から推計し今回増額計上したが、寄付という性質上、見込み額を想定するのは難しいため最終的には再度補正対応する可能性もある。



空き家見学ツアー

お試し住宅活用事業終了へ

お試し住宅の修繕費
 66万円の内容は。

定住対策課長 平成28年4月から令和8年3月までの契約期間をもって活用事業は終了する。

家屋返還に際し、畳の張替え等の必要修繕及びの家財処分費として計上している。

期間満了に伴い、これまでの成果と今後の移住定住施策に対する町の考えは。

お試し住宅を利用した方の中で、これまで12件の移住実績につながった。今後課題を整理し、賃貸物件等を利用した新たな事業も検討していく。

未来を担う 新たな命

増額140万円の内訳は。

福祉課長 令和6年度は出生数が極めて少なく11名であったが、令和7年度は9月末までに17名が出生されている。

母子手帳の発行状況から10月から年度末までに9名の出生が予定されており、転入者等を含む合計29名分を見込んでいる。



こんにちは 赤ちゃん

クマ対策に 独自の取組を

野生動物保護事業において、町内のクマ目撃情報や対策をどのように考えているか。

環境課長 過去の経験を活かし、目撃情報があった場合は専門家を連れて現地確認、定点カメラ等で継続的に監視している。令和7年度は、当町ではクマのエサとなるどんぐりの木や柿の木などが豊作なため、生活圏内も含め目撃情報は通常の半数程度しかない。

今後も専門家の知見も取り入れながらHP等で情報発信に努めながらクマが人里まで下りてこない根本的な取組みも進めていきたい。



スポーツの秋祭りでのスケートボード教室

スケートパークに 新たなセクション

都市公園整備費146万円増額の理由は。

都市整備課長 スケートパーク利用者のアンケート調査から、初心者向けのセクションが欲しいとの声を受け設置するもの。町内のみならず週末は町外利用者の方も多く、かなり喜ばれている施設であると認識している。

プレミアム率50% 「商品券」と「子育て応援手当」で物価高騰対策へ

12月臨時会（12月24日）

○プレミアム付商品券販売 …… 5,000円 / 冊 ※プレミアム率50%（1人10冊まで）
 ○子育て応援手当 …… 0～18歳までの子ども1人あたり20,000円支給

町長 非課税世帯や子育て世代へは、これまで別に物価高騰支援を実施してきた。
 今回は、より多くの方に商品券を購入してもらい町内の経済循環を図りたい。

プレミアム付商品券にすると、購入できる人とできない人で差が出るのでは。

町長 他自治体では、現金給付や水道料金値下げなど、物価高騰対策を講じているようだが、町としては町民の生活支援、事業者支援のためには経済を回すことが得策であると考え、プレミアム付商品券を選択した。

物価高騰対策はさまざまな支援策がある。プレミアム付商品券を選択した理由は。

町長 2月以降、町内店舗の新規募集を受け付けるが、店舗限定券や共通券で利用の幅を持たせるなど、より多くの方が多くの町内店舗で利用できるように周知に努めたい。

商品券を利用できる店舗において、一部の店舗に集中してしまう問題にはどう対応していくのか。

町長 購入者は必ずその商品券を使いプレミアム部分を利用され、町内の経済循環が図られると考えている。

商品券の購入ではなく、すべての町民に配布する選択はないのか。

議案等審議の結果

第3回 臨時議会（11月25日）

議案内容			審議結果
令和7年度補正予算 条例改正	一般会計	歳出減額 7,268万円 総額 60億 259万円	可決
	特別会計	国民健康保険事業：追加額 128万円 総額 13億 6,488万円	可決
		介護保険事業：減額 389万円 総額 13億 4,029万円	可決
	水道事業会計	追加額 162万円 職員給与費額 2,730万円	可決
	条例改正	人事院勧告に基づき一般職の任期付職員の採用等に関する改正	可決
		人事院勧告に基づき職員の給与に関する改正	可決
人事院勧告に基づき会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する改正		可決	

第4回 定例会（12月8日～9日）

令和7年度補正予算	一般会計	追加額 2,585万円 総額 60億 2,844万円	可決
	特別会計	国民健康保険事業：追加額 133万円 総額 13億 6,621万円	可決
		後期高齢者医療：追加額 392万円 総額 2億 5,682万円	可決
		介護保険事業：追加額 68万円 総額 13億 4,097万円	可決

第4回 臨時議会（12月24日）

令和7年度補正予算	一般会計	追加額 1億 699万円 総額 61億 3,544万円	可決（多数）
	特別会計	商品券：追加額 2億 3,692万円 総額 2億 4,585万円	可決（多数）
	下水道事業会計	追加額 472万円 総額 4億 92万円	可決

☆賛成・反対があった議案（第4回臨時会）

※○は賛成、●は反対を表しています。瀬戸恵津子議長は採決に加わりません。

議案件名	議員名（議席順）										
	和田成功	池谷仁宏	瀬戸伸二	高橋純子	石田照子	大野徹也	富田陽子	府川輝夫	熊澤友子	遠藤和秀	児玉洋一
令和7年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
令和7年度商品券特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

問 新可燃ごみ処理施設整備に係る建設費・運営費など財政への影響と見通しは。

答 建設費は、人口割を基本として負担をしていくが、負担額の想定は、約2億1400万円を令和9年度から3年間で支払っていく。運営費は、実績割を基本として負担していく。

問 分別品目の共通化の検討を進めている。今後、新たな課題が発生した際は、状況により町民の皆様や事業者にも、新たなルール等に対するご理解ご協力をお願いする。

答 分別品目の共通化の試験実施や、フリーリサイクルステーションを設置し、実証実験を行っているが、設置個所や回収品目など検討していく。今後は、様々な減量化・資源化に取り組む。



フリーリサイクルステーション
(ぐみの木近隣公園付近)

問 ごみ減量化・資源化に向けた取組みを

答 様々な減量化・資源化に取り組む



問 ごみの分別や収集体制など町民生活に影響が生じる場合、どのように対応するのか。

答 分別品目の共通化の検討を進めている。今後、新たな課題が発生した際は、状況により町民の皆様や事業者にも、新たなルール等に対するご理解ご協力をお願いする。

問 ごみ減量化・資源化の推進に向けて、どのような取組みをしていくのか。

答 剪定枝等の資源回収試験実施や、フリーリサイクルステーションを設置し、実証実験を行っているが、設置個所や回収品目など検討していく。今後は、様々な減量化・資源化に取り組む。



動画はこちら

問 子育て世代の不安解消に向け、(※)オンライン小児科相談サービスを導入する考えは。

答 子どもの受診の目安や子育ての悩み・不安を早期に解消でき、安心できる体制づくりの必要性を認識している。母子保健における自治体DXの一環として、令和8年度からの導入に向け進めていく。

問 子育て世代に『選ばれるまち』をめざす上で今後どのように地域医療体制を進めていくのか。

答 直接受診を前提とした地域医療体制が今後変化する可能性を踏まえ、町としての対応を調査・研究していきたい。さらに、令和8年度から妊婦健康診査の助成額のアップも検討している。

問 子育て医療にオンライン体制を

答 小児科相談のオンライン化に向け進めていく



問 子育て世代に『選ばれるまち』をめざす上で今後どのように地域医療体制を進めていくのか。

答 直接受診を前提とした地域医療体制が今後変化する可能性を踏まえ、町としての対応を調査・研究していきたい。さらに、令和8年度から妊婦健康診査の助成額のアップも検討している。



問 子育て世代の不安解消に向け、(※)オンライン小児科相談サービスを導入する考えは。

答 子どもの受診の目安や子育ての悩み・不安を早期に解消でき、安心できる体制づくりの必要性を認識している。母子保健における自治体DXの一環として、令和8年度からの導入に向け進めていく。

※オンライン小児科相談とは
妊産婦や子育て中の方がスマートフォンからLINEや電話で、子どもの受診の目安や子育ての悩みを24時間いつでも無料で相談できるサービスのこと。



動画はこちら

問 未来の見えるまちづくりを

答 町の自然を活用し 取り組んでいく

問 クマ対策の取り組みは。

答 猟友会等の団体と連携し、植樹など町有林の活用を考えている。

問 今後の木材活用
の取り組みは。

答 新生児に積み木セツトの配布、川村小学校の学習机天板や下足箱、山北中学校の教室プレート等の木質化を進めている。

問 水源地域における
交流事業の実施に関する協定の
今後は。

答 関係人口の創出につながる、水源地山北町のファンを増やす新事業を検討しており、県、川崎市と連携して進めていく。

問 森林環境の保全の
取り組みは。

答 森林環境譲与税を活用し、林道や作業道の補修・改良や小規模土砂防
止工事を実施している。



池谷 仁宏 議員

問 財源確保に向けた
連携は。

答 地域及び地区別の土地利用の基本的なゾーニングを行い、民間の活力を生かし、効果的、具体的な取り組みを検討していく。



動画はこちら

問 安全安心な楽しい公園と 遊具の整備は

答 安全で魅力ある公園 づくりに取り組んでいく

問 公園の維持管理
体制は十分か。

答 公園は、誰もが身近に利用できる憩いや交流の場であり、一部の公園は災害時には広域避難場所として機能する。環境美化、草刈り等の維持管理を、業務委託及び職員により定期的に行っている。安全に利用できるように、管理体制の強化に努めている。

問 安全規準に基づく
遊具等の定期点検の実
施は。

答 事故の未然防止が最も重要であるため、専門事業者による年一回の定期点検を実施している。点検結果を踏まえ、修繕必要時は早期の対応を図っている。
また、職員による定期巡回も毎月実施しており、今後も安心して利用できるように取り組んでいく。



遠藤 和秀 議員

問 健康遊具の導入や
多世代間交流ができる
公園にする考えは。

答 幅広い世代の方々から要望を聞き、それぞれ
の特色をいかし、多世代交流できる魅力ある公園づくりに努めていきたい。



動画はこちら



日よけのついた平山のびのび公園



とれたて山ちゃんの加工品

問 生産・加工・販売をサポートする企業誘致が必要と考えるが、誘致の計画はあるか。

問 6次産業化で新しい農業の形を

答 多くの意見を聞き検討する

※**かながわ農業アカデミー**とは県が運営する農業の担い手育成機関で、次世代の農業の担い手、優れた経営感覚を持つ人材の育成をめざし、必要な知識・技術を支援する。

今後、県内企業の動向などを情報収集していく。
(※) かながわ農業アカデミーの相談会に参加し、本町の6次産業化に向け整理していきたい。

答 農業参入の企業誘致は、農地法の許可が必要になる場合があるなど、具体的案件がない状況での企業誘致は難しい。



せと しんじ 議員
瀬戸 伸二 議員

問 町長は「地域おこし協力隊」の活用を明言しているが、どの分野での活用を想定しているのか。



動画はこちら

答 隊員募集に際し本町の魅力をアピールしなければ「応募なし」になりかねない。
「森林」をテーマに、都心に近い大自然をアピールし、森林や林業が抱える問題の解決や、森林の持つ魅力を活かす取り組みを進めることを想定し、地域おこし協力隊を活用していきたい。

※**地域公共交通会議**とは「地域旅客運送」の全体的な構想計画や基本方針としての役割を果たす「地域公共交通計画」を策定し、高齢者の移動手段などで、持続可能な移動手段の確保の取り組みを推進する会議のこと。

問 令和6年度の目標達成と事業評価は。令和7年度の事業計画と進捗状況は。

問 地域公共交通計画の進捗は

答 地域公共交通会議で進捗や成果を把握する

答 令和6年度は、3つの指標で目標値を達成できた。
令和7年度は、清水・三保地区の新たな移動サービスの検討、山北町内循環バス運行事業の見直し、公共交通マップの作成を進めている。
令和8年度に公共交通マップの配布と、新たな移動サービス事業の運行に向けた手続き等を行っていく。
清水・三保地区の移動支援サービスは、令和9年度の本運行を検討している。



おおの てつや 議員
大野 徹也 議員

問 移動支援サービスの確保で、近隣市町との広域連携の動きは。



動画はこちら

答 個々の自治体が抱える地域公共交通の課題について県を交えて意見交換を行っているが、連携する自治体のメリットをもたらす具体的な検討に至っていない。

問 財政負担を踏まえ、既存事業の廃止を含めた見直しは。

答 令和7年度の移動支援の事業費は、6千万円を超える予算で、既存事業の在り方を検討し、廃止も含めて見直しを図っていく。

問 地域おこし協力隊
に取り組む理由は。

答 町内に約3千ha以上の水源協定林がある。令和9年度から「かながわ水源環境保全・再生基本計画」により水源返還林の機能維持が始まるが、林業従事者不足が懸念されている。

そこで、森林・林業の人材を確保し、育成するために協力隊の活用に取り組む。

問 地域おこし協力隊の
ミッションは

答 森林を活用した
地域の活性化をはかる



問 タイムスケジュールはどうか。

答 これまで、協力隊について、積極的に調査研究をしていなかったが、本年度中に庁内組織で活動内容や募集方法、サポート体制を検討する。

令和8年度は、関係団体や受入地域との調整を図り、令和9年度から3年間の任期でスタートを考えている。

問 協力隊が取り組む
ミッションは



動画はこちら

答 林業関係に従事し、林業の知識や技術を習得・研修に励み、退任後も定住し将来的に町内で林業を起業し、豊かな水源地の森林を保全し活用していくことをめざしている。

※地域おこし協力隊とは
都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を自治体隊員として委嘱し、農林水産業等への従事し地域協力活動を通じ、定住を図る制度のこと。

なお、経費は国の特別交付税措置が講じられ、町の持出しはない。

原稿は、質問者本人が作成しています。

》 研修会レポート

令和7年度 町村議会議員研修会

令和7年11月21日(金)

14:00~15:30

会場:箱根町仙原文化センター

講師:尾池 和夫氏

(京都大学名誉教授
元京都大学総長
前静岡県立大学学長・理事長)



「地震を知って震災に備える」

～歴史から読み解く神奈川の未来～

地震は、地下10キロ、15キロという私たちの暮らしのはるか下で起きる岩盤の動きから始まります。普段は見えない地下の世界ですが、そこでは今も地球が静かに動いています。

日本には約2000の活断層があり、過去の地震や地形の記録は、これから起こり得る災害を考える大切な手がかりになります。

科学は常に知識を更新しています。専門的な学びを通じて、正しく知ることが備えにつながり、その積み重ねが地域の命と暮らしを守る力になると、あらためて実感した研修会でした。

(記) 高橋 純子

やまきた町議会
おしゃべり Cafe

10/20(月)小田原百貨店
 出席議員：高橋・大野・府川・瀬戸(恵)

12/20(土)カフェ NICO
 出席議員：富田・池谷・熊澤・遠藤・瀬戸(恵)

今回のおしゃべりCafeでは、公共施設や移動、暮らしの支援など、「安心して山北町で暮らし続けたい」という切実な声が寄せられました。
 日常の声の中に、町の未来へのヒントを感じました。

※一部のご意見を掲載しています。全てのご意見は、町議会HPで公開しています。

移動のこと、これからの安心へ

- ・循環バスのルートに宮地や城山地区も入れてほしい。



毎日の買い物が、暮らしの支えに

- ・山北駅周辺に、肉・魚・日用品を扱う店舗が少ない。
- ・移動・買い物の不便が、暮らし全体の不安につながっている。



空き家のこと 地域みんなの課題

- ・仏壇や家財が残ったままの空き家が増加している。
- ・処分や活用が進まず、地域の管理・安全・将来像にも影響するのでは。

にぎわいを、次の世代へ

- ・イベントの盛り上がりは評価される一方、地域行事を支える担い手が不足している。
- ・若い世代が関わりにくくなっている現状があるのでは。
- ・町外に出なくても働ける場所がほしい。
- ・起業し成功している移住者の考えをまちづくりに活かしては。

町の施設をこれからに生かす

- ・公共施設(旧清水小中学校跡地)の活用について、耐震性が確保できれば、商工会・社会福祉協議会などの地域を支える組織の拠点としての活用できるのでは。

町全体を見渡して

- ・東部に偏って発展しているように感じる。
- ・地域間のバランスを意識した「住みやすい町づくり」を進めてほしい。



当日の様子など記載したおしゃべりCafe通信はホームページでご覧いただけます。

**おしゃべり Cafe は新たな形へ。
 次回開催は、
 3月29日(日) 桜まつり会場です。
 皆さまの声を聞かせてください。**



No.223 議会のおと 広報モニターアンケート

10名の議会広報モニターの皆様から、前号のアンケートに回答していただきました。毎回沢山のご意見、ご指摘等アイデアをいただき、すぐ取り入れられるものは早速編集に活かしております。すべてのご意見を載せられず残念ですが、一部をご紹介します。

～定例会・審議結果～

- ◆見出し下の注目事業の表がわかりやすく良い。
- ◆図や写真があつて、読みやすかった。
- ◆グラフや挿絵により、各事案について理解に繋がりがやすい。
- ◆町には様々な問題があり、現状がわかりやすく伝わった。



～表紙・裏表紙について～

- ◆同じ町に住む、どんな方がピックアップされているのか、新鮮な情報を得ることができて、山北町は小さいようで広がりがある町なんだな、と思う。
- ◆お店をやっている方が、どんな経緯で山北に来られたのかわかることが、とても良い。

～特集 町民 VOICE ～

- ◆みなさん良い表情で映られていて、素敵だなと思った。同じ町民の方たちの言葉や表情から伝わるものがある。
- ◆老若男女の色々な声が聞けて良い。
- ◆同じ地域に生きる方々の表情が見えるページで、親近感を覚える。

～広報モニターアンケート・おしゃべりCafe～

- ◆モニターアンケートにより意見が吸い上げられている事を実感する。
- ◆おしゃべりCafeをもっと進化させたいとは？ 漠然とすぎていてイメージが持てない。
- ◆おしゃべりCafeというイベントはとても重要な役割があると思う。毎回記事が興味深いのが、実際に参加するかと言われたらハードルが高く感じる。

～その他のご意見～

- ◆小学校の空き教室がこれから少しずつ多くなってきたら、そろばん教室や書道教室に活用して欲しい。
- ◆山北町も廃校などがあり、失ってしまった状況からプラスにできる有効な案が出てきてくれると良い。



※全集計結果はホームページに掲載しています。



地域から

小地域サロン（共和地区）

令和7年12月に開催された2地区の集いの場
 伺い、スタッフや参加者
 から会への意気込み、大
 切にしていることをお聞
 きしました。
 高齢化率約43%。元氣
 な老後をいつまでも…



スタッフの声

- ・行政 & 包括のスタッフが来てくれること、福祉バスと連携できていることがありがたい。
- ・もっと若い人や男性も参加してくれると嬉しい。
- ・デイサービス程度のものができたらいい。
- ・今年は総合防災訓練に合わせて安全講習など開催できてよかった。
- ・参加するために身なりを整えることも大切。

小地域サロン（共和地区）

- ・12月19日（金）9:30～11:30
共和のもりセンター・毎月第3金曜日
- ・参加者：60代～90代 14名
- ・主催者：共和女性の会&共和住民福祉協議会
- ・内容：クリスマス会 クリスマスソングのハンドベル等演奏、合唱、地図記号クイズ、1年をそれぞれ振り返り

参加者の声

- ・みんなで話をしたり、人の話を聞きたい。
- ・地域の方の話しを聞いて勉強になる。
- ・ここに来てみなさんと会えるのが楽しみ。
- ・バルーンアート作りがとても楽しかった。



元気の源は

月一の会 (ひさり 尺里東地区)



月一の会 ひさり (尺里東地区)

- ・ 12月14日(日) 9:30～11:30
尺里東自治会集会所
- ・ 参加者：60代～80代 20名
- ・ 月一の会会長：高橋克行さん
- ・ 内容：テレビ体操、健康番組鑑賞

スタッフの声

- ・ 集会所を改修したので、皆が集まるいいの場として活用したいと思ったのがきっかけ。
- ・ 全員が喜ぶ出し物がなく苦悩している。
- ・ 役員で次回の出し物を決めたりしている。
バラエティーにとんだ出し物をしていきたい。
映画、紙芝居、ゲーム、スポーツ、健康講座等。

参加者の声

- ・ 健康に良く、難しくなく参加できている。
- ・ 家にいると何もしゃべらないが、ここにいれば誰かに会える。
- ・ みんなの笑顔に会えることは健康にとっても大きい存在。
- ・ 体操の時間が楽しみ。



活きいきひろば

丹沢湖に変わらない味と時間を

三保地区在住 湯川 充さん



28年前、父が定年を迎え「第二の人生をここで」と中川地区に開いた「創作レストラン」。父の地元であり、私自身も子どもの頃から丹沢湖で遊んだ思い出の場所です。

店を令和6年のゴールデンウィークに母から引き継ぎ、リニューアルしました。この節目に店名も、場所の魅力を大切に「丹沢湖 創作」へ。「なくしたくない」「自分にとっても帰ってこられる場所でありたい」…その思いを胸に、味は変えず、丹沢湖の空気とゆっくり流れる時間を届けています。

家族連れやライダー、釣りやSUP・カヌー、ペット連れの方まで、多くのご縁に支えられ人が集う居場所に。これからは、PIZZAの提供や体験型の取り組みも少しずつ形にし、スマートICの開通も見据えながら、丹沢湖の景色と人のぬくもりが、そっと心に残る場所であり続けたいと思っています。

丹沢湖 創作

【営業時間】11時～16時

【定休日】月・火・水曜日

【TEL】0465-200-8555

※来店の際は事前にお問い合わせください。

表紙テーマ

議会をより身近に感じてもらえるように、町内事業者やさまざまな活動をされている方々の写真を表紙のテーマとしています。



お知らせ

令和7年11月1日発行の議会だより223号の表紙は、「カフェリーフス」さんです。

議会の傍聴においでください

第1回定例会(予定)

3月4日(水)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ

75-3653

議会事務局

町議会

YouTube チャンネル

一般質問などの動画を配信していますので、チャンネル登録をお願いします



高橋 純子
富田 陽子
和田 成功
瀬戸 伸二
石田 照子
岩玉 洋一

編集メンバー



編集委員の つぶやき

高1と小6(男子)の二人の孫が冬休みに遊びに来ていました。久しぶりに対面した孫に、とうとう背を追い越され、その成長ぶりに驚きと少しのショックを受けながら新年を迎えました。

さて、広報班では定例会中に一般質問をYouTubeへ投稿し、終了後は議会だよりの紙面づくりに向け表紙候補への交渉など慌ただしく動き始めます。

会議では、文章は簡潔か、レイアウトは見やすいか、広報モニターさんのご意見は反映されているかなど親しみやすい編集を心がけています。

今年は午年、ウマく手に取っていただける「議会のおと」になりますよう、ウマく編集できますよう委員一同心を一つにし頑張ってください。

(記) 石田 照子